

2006-4-1

ふじさわ・九条の会ニュース



NO4

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斉藤隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>

自衛隊が「自衛軍」になることの危険性

— 3.3集会で九条の会事務局長・小森陽一氏講演 —

3月3日、ふじさわ・九条の会主催で、小森陽一氏をお招きして憲法改正問題の学習講演会を行った。小森さんは、「九条の会事務局長」として、全国を駆けめぐっておられるので、憲法を守る運動の最前線に立った経験を語っていただこうと企画したもの。当日、会場の藤沢市民会館第2会議室には、部屋の定員60名をはるかに越え、79名の皆さんに集まっていた戴いたため、椅子が不足し、フロアーに座って頂いたり、外の長いすを持ち込んだりして、お話をお聞きした。

<改憲勢力の狙い>

小森さんは、講演の中で、自民党の憲法草案、国連憲章などを資料に示しながら、改憲勢力の憲法改悪の狙いが何処にあるかを語りました。

小森氏の講演では

①、改憲勢力の狙いは、憲法の性格を180度転換し、「国民の権利を、国家の暴走から守る最高法規としての憲法」から、「国家が国民を縛る最高法規」に変えようとしていること。

②、そして、「自衛隊」を「自衛軍」に変えることによって、歴代自民党政府の公式見解＝自衛隊は軍隊ではない、従って専守防衛の個別的自衛権しか無いという見解を変え、海外派兵を可能にする「二国間軍事同盟、集団的自衛権行使」の行使を可能にしようとしていることが強調された。

<九条改悪は

アメリカの21世紀戦略>

九条改悪は、アメリカの21世紀の世界戦略に基づいており、日本が九条の縛りを取り外し、イギ



—3.3集会で講演する小森陽一氏—

リスなどと同様に、アジアや中近東において、二国間軍事同盟に基づく、軍事行動が出来るようにする狙いをもっていることが強調された。

現在、北東アジアでは、九条があるから、六カ国協議などのような平和的外交交渉で問題解決が図られているが、九条が変えられた場合、極東の平和の構造が変えられる恐れがあると述べられた。

<改憲勢力のマインド戦略

に負けない運動を>

小泉首相は、先の衆議院選挙のように、巧みなマインドコントロール、マスコミ戦略で、若者を取り込み、大勝した。私たちの九条を守る運動も、狭い殻に閉じこもるのではなく、幅広い人達に働き掛ける取り組みが必要であることが話された。講演の後行われた討論では、ユニークな小森さんのお話に、参加者の中から「目から鱗が落ちた感じ」、「思い切って運動を広げる取り組みをしたい」等の感想が出された。

(文責 小林 麻須男)

＜江ノ電沿線九条の会＞

「朗読とコカリナを聴く会」 に60人参加



—コカリナ演奏をする小野先生—

3月11日に「江ノ電沿線九条の会」・春の集いが藤が谷市民の家で開かれました。

今からの時代の中心となって生きていく若い人々、幼

くこれからの人生の方がずっと長い子どもたちが、平和な世の中で過ごして欲しいという気持ちを込めて、朗読とコカリナを聴く会でした。

朗読を楽しみ、コカリナを聴き、これが平和だから出来るのだと思って頂ければ、そして一緒に九条を守る活動に参加してもらえたらとの考えです。参加者は60名、うち15名が小学校の子どもで、とても熱心に聴いてくれました。

「ぺにろいやるのおにたいじ」、「花の好きな牛」、「のぼら」、と朗読は3つとも戦争は嫌だを発信するものでしたし、コカリナの先生も、会場

からも九条を守ろうと発言があったりしたのに、賛同者になろうと言って下さる方が少なかったのはたいへん残念でした。

戦争体験者だけが「憲法を守ろう」とか「平和」とかを話すのではなく、若い人たちも一緒になって、平和と憲法を話し合っていきたいものです。今、種が蒔かれたところです。若い人たちと一緒に、これからを期待したいと思います。

江ノ電沿線九条の会では年に4回の集まりを持ちたいと考えており、これからも頑張るつもりです。

世話人代表 川崎典子

＜全国「九条の会」＞

6月に全国交流集会

著名人9名が「九条の会アピール」を発表してから1年半がたち、全国各地に4000を超える地域「九条の会」が結成されました。「九条の会」事務局は、発足2周年の6月10日、全国に広がった「九条の会」代表が一同に会す「九条の会全国交流集会」を、東京・日本青年会館で開くと発表しました。全国交流集会を開く狙いは、それぞれの地域の運動を生々の声で聞き、考え、2年目からの運動の質的飛躍を計りたいというものです。

槐一男さん —戦争体験記出版— 「三月十日はぼくの命日」

1945年3月10日東京はB29の爆撃により火の海と化し、10万人以上の人々が戦争の犠牲となった体験を元に、「ふじさわ・九条の会」会員の槐一男さんが、自身の戦争体験を綴った書「三月十日はぼくの命日」を出版しました。

「自分はもう歳、けれど自分の体験は語り継がなければ」という思いに駆られ書いたとのこと。

当時まだ15歳。爆撃による火の玉が乱れ飛ぶ中、必死で逃げ、溝川に身を隠し、何とか命は取り留めることができた。しかし、一夜明け、街へ戻ると自分の知る故郷はもうそこにはなかった。廃墟と化した故郷、あたりに無数に横たわる焼死体。戦争はあまりにも理不尽に、多くの命を奪い去った。あの惨劇の夜の光景はいまだ風化することはない。今でも目をつぶると鮮明に記憶が甦るという。「よく戦争を題材にした映画やドキュメンタリーを観るが、ぼくが体験した戦争はあんなものじゃない」戦争の体験を本に残そうと思ったのは2年ほど前。筆の力でできることをしようと思った。15歳までが15年戦争の時期と重なることもあって題字で「三月十日はぼくの命日」だと銘打った。一番伝えたいのは、自身の孫たちの世代。「孫は本当にかわいい。あの子どもたちにあんなことは体験させたくない」という強い願いに駆られて書いたと語っておられました。



創意をこらし、毎月続ける「9の日宣伝行動」

1月9日 成人式宣伝で 若者たちにピラを配って



晴れわたった空の下、成人式に参加する若者たちが続々と市民会館に集まって来ました。今年はこの団体の宣伝が全く無く、「ふじさわ・九条の会」だけが、7メートルの横断幕を広げて若者たちに憲法について語りかけました。着物の快にも入るようにと、チラシは小さくして、お祝いの赤いリボンがカラー印刷という凝ったものでした。

「憲法？よくわかんない」「おれたちにあんまり関係ないよ」などと煙たそうにする人もいましたが、短い時間に49名もの賛同署名をもらうことが出来ました。

特に印象的だったのは、20歳でも、すでに社会人になっている人たちが「それって大変なことですね」と、真剣に私たちの訴えに耳を傾けてくれたことです。
(折原美知子)



3月9日 湘南台駅南北で トトロ折り紙つきピラ配布



寒空の下、湘南台駅西口・東口等4ヶ所の出入口でチラシ配布を行いました。

ウィークデーの昼下がり、人通りも少なく800枚のチラシが配れるかどうか懸念しておりましたが、買い物途中の奥様や子達れの若いお母さんたちに、子供の未来にこの平和を守りたいという思いを伝えながら渡しました。

トトロの折り紙をつけたチラシは、子供たちや学生たちに人気があり、喜んで受け取ってくれました。

一人一人に「九条を守ること」の大切さを話しながら配りました。
(永田 陽子)

9の日宣伝で会った 中学生たちは

私は、太平洋戦争開始の日の翌日、「ふじさわ・九条の会」の宣伝をやりました。

新しく作った大きな横断幕や旗をたてて、みんなでわかるがわる訴えました。私は「大事な憲法を守るため、ぜひ読んでください」と言って、ピラを手渡しました。

小さな子どもには、サンタさんの折り紙を渡すと、子どももお母さんも笑顔でこたえてくれました。

私たちの反対側では、かわいい女子中学生が、ユネスコ難民支援の募金を、大きな声で訴えていました。付き添いの先生の了解をとって、その生徒にもピラを手渡し、「お父さん、お母さんに読んでもらって」と頼みました。そして募金箱に百円いれました。また、隣で訴えていた男子生徒の箱にも、それぞれ二十円ずつ入れました。カンパ代は、帰りにバスに乗らずに、運動のために歩いて帰れば良かったからです。そして十円でも多くの人に入れてあげれば、生徒たちも張り合いがでると思ったからです。

(伊藤三恵子)

4月29日(土)

「結成一周年のつどい」 を開催します

- ①、日時～4月29日(土)
18時30分～21時
- ②、場所～藤沢産業センター 6階
- ③、永六輔さんの講演
18:30～20:00
- ④、全体会議(報告と討論)
年間の活動報告と今後の活動
20:00～21:00

3月18日のワールドピースナウの「自衛隊はイラクから即時撤退を！」の集会で漫画家の石坂啓さんは「この国は岐路にあるのではなく、もう曲がり角を曲がってしまった」と話された。確かに、アメリカのイラクへの侵略戦争に日本が荷担し、自衛隊をそこに派兵した瞬間に日本は大きく角を曲がってしまったのだ。

3月22日の記者会見で、ブッシュ大統領は自分の大統領任期中はイラクからのアメリカ軍の撤退はないことを示唆した。ブッシュのポチになりさがっている小泉首相が自衛隊の撤退を明言することは考えられない。そういう意味で、アジアに、世界に公約した九条の戦争放棄の条文は今や風前の灯火だと言える。

しかし、だからこそ、今、九条を守る運動、九条を中心に憲法について市民と対話し、平和の大切さを訴え続ける運動が強く求められているといえる。

藤沢では地域九条の会が生まれてきている。小回りの利くこれらの会の誕生は、市民と対話のできる条件が広がったことを意味する。特に若い世代との対話を実現することが急務である。

4月29日の全体集会在こうした運動に明るい方向性を与えるものになるようにしたいと思う。みなさんからの積極的な提案をお願いします。

事務局長 斎藤 隆夫

「ふじさわ・九条の会」結成一周年のつどい

講演 永六輔さん
放送タレント・九条かながわの会 呼びかけ人

演題
ここが地球の真ん中です
～守るより「好きです」という感覚～

日時 4月29日(土)
開場 18:00
講演 18:30～20:00
-後の報告と今後の活動- 討論
20:00～21:00

藤沢産業センター 6F
0466-21-3811
参加費 500円 (参加費ご希望の方は下記までご連絡下さい)

主催 「ふじさわ・九条の会」
連絡先 電話/FAX 斎藤隆夫 0466-35-7104 奥田啓子 0466-34-5843

—結成一周年集会のピラです—

<お知らせ>

<4月の「9の日行動」は 小田急「江ノ島」駅前で行います>

毎月9の日に、藤沢市内の主要駅頭で、「憲法九条を守ろう」と宣伝活動を行っています。4月9日は、小田急「江ノ島」駅で行う事になりました。4月9日は、日曜日で行楽客が多いと思いますが、観光で江ノ島に来られた方にも、藤沢でも「九条の会」の運動が行われているということを知ってもらって、運動を全国に広げたいと思います。観光客に負けない人数で配りたいと思いますので、多数の参加をお願いします。

(13時30分～15時まで)

<当面の行動日程>

- 4月 9日 「9の日行動」小田急江ノ島駅
- 10日 事務局会議(市民活動推進センター)
- 24日 世話人会(〃)
- 29日 結成一周年の集い(産業センター)
- 29日 連合メーデー(茅ヶ崎 中央公園)
- 5月 1日 労連メーデー(藤沢 奥田公園)